

# 近世おおさか 理系図鑑

重要文化財指定記念

大坂の天文学者・間重富(はざま・しげとみ)は、町人でありながら幕府の改暦事業の中心的役割を果たし、天文学の発展にも貢献しました。今年はその没後200年にあたることから、天文学のほか理系分野に光を当て、江戸期大坂の魅力を4名の講師に語っていただきます。



『彗星概説』[間重富 1811]([間重富・間家関係文書]より)  
※当館で所蔵している「間重富・間家関係文書」が、今年、重要文化財に指定されることになりました。

7/9  
(土)

第1回

## 町人学者間重富と近世大坂の天文学

当日先着順

嘉数次人氏

(大阪市立科学館学芸担当課長)

7/16  
(土)

第2回

## おおさかの薬業

当日先着順

八木 滋氏

(大阪歴史博物館主任学芸員)

7/23  
(土)

第3回

## 筆算をひろめた大坂の知られざる天才の物語

当日先着順

丸山健夫氏(武庫川女子大学教授)

※第1回から第3回で手話通訳をご希望の方は、裏面をごらんください。

### ●時間●

午後2時から4時  
(開場午後1時30分)

●定員● 各回300名  
●入場無料

### ●会場●

大阪市立中央図書館  
5階大会議室

▼主催・お問合わせ▼

大阪市立中央図書館



〒550-0014

大阪市西区北堀江 4-3-2

電話：06-6539-3302

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>

7/30  
(土)

第4回

## 人気作家の舞台裏 -歯科医師が描く時代小説-



第4回のみ  
事前申込要

上田秀人氏(作家)

### ▼第4回(7/30)申込み方法▼

往復はがき もしくは インターネットより受付

#### 【往復はがき】

1枚のはがきで2人まで。往復はがきに、参加する方のお名前(ふりがな)・代表者の住所・電話番号を記入して下記あて先までお送りください。

※手話通訳を希望する方は手話通訳希望と明記し、FAX 番号(FAX がないときは住所)を記入してください

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

大阪市立中央図書館「大阪連続講座」係

#### 【インターネット】

図書館ホームページ(<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>)にアクセスの上、所定のフォームから。

**申込締切:平成28年7月11日(月)必着**

※申込多数の場合抽選

## 手話通訳

手話通訳は手配の都合がありますので事前にお申込ください

### ▼手話通訳申込み方法(第1回から第3回)▼

はがき もしくは インターネットより受付

【インターネット】

図書館ホームページ

(<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>)にアクセスの上、所定のフォームから。

**申込締切:各回とも開催日の3週間前**

\*いただいた個人情報は事業実施にかかわる連絡のみに使用し、事業実施後すべて破棄します

# 近世おおさか 理系図鑑

【はがき】

はがきに、参加する方のお名前(ふりがな)、連絡先の FAX 番号(FAX がないときは住所)、参加希望回次(第1回～第3回)を記入してください

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

大阪市立中央図書館「大阪連続講座・手話通訳」係

## 第1回 7月9日(土) 町人学者間重富と近世大坂の天文学

近世後期の大坂では天文学の研究が盛んでした。その中で代表的な天文学者が間重富です。質屋を営む間重富は、幕府天文方に出仕して寛政暦への改暦に従事したほか、観測機器の開発に携わるなど大きな活躍をします。講演では間重富の業績をはじめ、大阪に伝わる間重富関係資料についてもお話しいたします。

かずつぐと  
**嘉数次人氏** (大阪市立科学館学芸担当課長)

1965年、大阪生まれ。1990年、大阪教育大学大学院修了。同年より大阪市立科学館学芸員。

科学館ではプラネタリウムの投影や企画をはじめとした科学普及の業務に携わりながら、専門の科学史について調査研究を行っている。特に江戸期の天文学者たちがどのような研究を行っていたのか、当時の人々がどのような宇宙観をもっていたのかなどについて興味を持っている。

## 第3回 7月23日(土) 「筆算をひろめた 大坂の知られざる天才の物語」

幕末の時代、数学の力で黒船をやっつけようとした男がいました。日本ではじめての西洋数学書を世に出した大坂の和算家福田理軒です。勝海舟の大坂海軍塾に近い本町に算学塾を開き、あの緒方洪庵と並び賞せられるほど名声がありました。大坂が生んだ忘れられた天才、福田理軒の生涯を伝記・物語風に紹介する2時間をご一緒に！

まるやまたけお  
**丸山健夫氏** (武庫川女子大学生生活環境学部教授)

京都大学農学部卒業。米国ルイジアナ州立大学客員准教授、武庫川女子大学文学部教授などを経て、生活環境学部教授。ベイ・コミュニケーションズ(CATV)放送番組審議会会長。米国イースタンワシントン大学交換教授。日本雨水資源化システム学会賞受賞。著書に、『風が吹けば桶屋が儲かる』の0.8%！？(PHP新書)、『ナインゲールは統計学者だった！』(日科技連出版社)、『筆算をひろめた男』(臨川書店)、『ペリーとヘボンと横浜開港』(臨川書店)などがある。教科書なども執筆。最近、歴史的視点にたった科学に関する執筆が多い。今春には、大学の地元「旧鳴尾村」の近現代の歴史を紹介した冊子とTV番組を、阪神電鉄と地元ケーブルテレビ・ベイコムと協力して製作。阪神電車主要駅で配布するとともに、CATVで番組を放映した。ホームページは、<http://yy.org>

## 第2回 7月16日(土) おおさかの薬業

江戸時代の大坂・道修町には薬種中買がいて、輸入・国産の薬種(漢方薬の原料)を仕入れ、小売の薬種屋や医師、薬種を調合して服用薬を製造・販売する合薬屋に売りさばっていました。大坂にはたくさんの合薬屋があって、全国的に有名な薬もありました。明治以降は、薬種中買が西洋薬の製造に乗り出し、現在の製薬会社へと発展していきました。講演では、そのような大阪の薬業についてお話しいたします。

やぎしげる  
**八木 滋氏** (大阪歴史博物館主任学芸員)

1969年大阪生まれ。1998年、大阪市立大学大学院単位修得退学。同年、大阪市立博物館学芸員。

2001年より大阪歴史博物館学芸員。

江戸時代の大坂の都市史・流通史を調査・研究している。

## 第4回 7月30日(土) 「人気作家の舞台裏 -歯科医師が描く時代小説-」

第4回のみ  
事前申込要

大阪在住の歯科医師であり、数多くの時代小説を発表し続けている人気作家・上田秀人さん。江戸時代の医師を主人公にした表御番医師診療録シリーズで描かれる医術のほか、剣術や殺陣の場面でも、人体の仕組みに精通した医師ならではの知識がいかされたリアルな描写が目をひきます。作家であり、歯科医師でもある上田先生独自の作品世界、創作の背景などについて、お話しいたします。

うえだひでと

**上田秀人氏** (作家)

1959年 大阪生まれ。大阪歯科大学卒業、歯科医師。平成6年故山村正夫師主催の小説講座に入門。平成9年第二十回小説クラブ新人賞佳作「身代わり吉右衛門」でデビュー。日本推理作家協会会員、日本文芸家協会会員、日本歯科医師会会員。

府下で歯科医院を開業していたが、平成26年に閉鎖、専業作家となる。今年の3月に荒木村重伝「傀儡に非ず」を上梓、書き下ろし100冊をこえた。

★主催・お問い合わせ

大阪市立中央図書館  
大阪市西区北堀江  
4-3-2  
06-6539-3302



★地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅7番出口すぐ